
シンポジウム 都市史研究の最前線 「都市と表象」シリーズ

第3回 『消費と生産』

主催：一般社団法人 日本建築学会 建築歴史・意匠委員会 都市史小委員会

日時：2012年12月20日（木）10:00～17:00

会場：建築会館3階会議室（東京都港区芝5-26-20）

都市史小委員会は、1999年以降、定例シンポジウムを開催している。2010年度からは「都市と表象」を共通テーマに、第1回は「宗教が都市に立ち現れるとき」、第2回は「技術」に焦点をあてて議論を展開してきた。

第3回となる今回は「消費と生産」をとりあげる。これは、消費・生産を市場社会や小売りといった局面に限定するものではなく、権威や象徴など都市の様々な事象に深く関わる行為として位置付け、それがいかに都市において表象してくるのか、あるいは都市の表象といかに関わるのかを検討しようとするものである。具体的には、商業空間や流通の特質に加え、都市儀礼や資源の循環構造を下支えする消費や生産のありかたなどに注目し、新たに位置づけた消費・生産という視点から都市の空間・社会構造の解明につながる方法論や理論を再検討してみたい。

<プログラム>

司会：松本裕（大阪産業大学） 副司会：赤松加寿江（東京大学） 主査：岸泰子（九州大学）

発表、コメント：

10:00～10:10 主旨説明：岸泰子（九州大学）

10:10～10:50 報告1：青木香代子（東京芸術大学）「近世ヴェネツィアにおける劇場の商業化」

10:50～11:30 報告2：金銀眞（東京大学）「ソウルにおける中心地の商業空間（鍾路と本町）」

11:30～11:50 コメント：石田潤一郎（京都工芸繊維大学）

13:00～13:40 報告3：岩城考信（呉工業高等専門学校）「消費される城壁と生産されるショップハウス：城壁解体から見た近代バンコクの都市開発とキャピタルゲイン」

13:40～14:20 報告4：青井哲人（明治大学）「植民地下台湾における建材流通の転換と都市空間 ～ 都市建築の変容の一端」

14:20～14:40 コメント：大田省一（京都工芸繊維大学）

14:50～15:30 報告5：田中傑（東京理科大学）「都市の災害と消費」

15:30～16:10 報告6：岸泰子（九州大学）「権威と消費」

16:10～16:30 コメント：中島智章（工学院大学）

16:30～17:00 全体討論

参加費：会員1,500円、会員外2,000円、学生1,000円（資料代を含む、当日会場でお支払いください）

定員：シンポジウム50名（申し込み先着順）

申込方法：(1)Web申し込み <http://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=278> よりお申し込みください。

(2)E-mailによる申し込み 催し物名称、参加費種別、会員番号、氏名、勤務先・所属、同電話番号を明記し、E-mailにてお申し込み下さい。

申込問合せ：日本建築学会事務局 研究事業グループ 一ノ瀬

TEL03-3456-2051 E-mail: ichinose@aij.or.jp